

ゆづり 市議会だより



RESTART
Challenge More.

69号 2025.8

議員と市民との意見交換会

市民のみなさんと議員が自由に意見交換ができる機会をつくるため、今年も意見交換会を開催いたします。

みなさんのご意見をお聞かせください。



9月21日(日)

◆10時30分～ 紅葉山生活館

◆14時00分～ 鹿の谷生活館

※事前予約不要

●問い合わせ先
夕張市議会事務局 ☎0123-52-3172



昨年の意見交換会の様子です

夕張市議会だより編集委員会

委員長 工藤政則

副委員長 櫻井 暁

委員 徳谷康憲

委員 荒井周司

委員 君島孝夫

委員 千葉 勝

委員 高間澄子

夕張市議会の情報はこちら



夕張市議会
ホームページ



夕張市議会
YouTubeチャンネル

・移住定住の促進について

徳谷 これまでに夕張市が実施してきた移住定住策について、どのようなものがあつたのかを伺う。

市長 新築住宅取得費補助金や中古住宅取得費補助金、リフォーム工事費補助金、創業等支援事業補助金、資格取得支援補助金を実施している。

徳谷 これらの施策を踏まえた、移住定住の成果について伺う。

市長 平成29年度から令和6年度の合計で新築住宅取得補助が9件、中古住宅取得補助が35件、リフォーム補助が56件、創業等支援補助が53件、資格取得支援補助が182件となつている。これらは、移住定住された方のみの対象ではなく、成果を回答することは難しいが、引き続き、移住定住を検討する方が利用しやすい補助のあり方を検討していく。

徳谷 空知定住自立圏の形成に伴い、新たな移住定住政策があるのか伺う。

市長 夕張市単独の取組に留まらず、圏域全体で移住に関心がある層にアプローチを行う場に参加するほか、他自治体の先進的な事例や移住に対するニーズの把握などに努めていく。



徳谷康憲



徳谷 他自治体では空き家や市営住宅を積極的に活用し、移住定住者の受け入れ体制を強化している。夕張市としての考えについて伺う。

市長 夕張市でも他自治体と同様に各種補助を実施しており、これらの取組を通じ、引き続き、移住定住者の受け入れを実施していく。その上で、定住自立圏の取組を踏まえ、夕張市に適した事例の検討を進めていく。

徳谷 市営住宅の入居要件を緩和する考えはないか。

市長 収入制限はあるが、市内に持ち家がないなど、住宅にお困りの方は、基本的に入居ができる。入居要件を緩和する必要があるのであれば、ニーズの把握に努めていく。

徳谷 千歳市には半導体関連企業のラピダスがあり、JRの特急で南千歳駅まで約30分である新夕張駅の周辺は従業員の住居になり得るのではないか。プロモーションを含めた市の対応を伺う。

市長 今のところ、これらの企業に向けた取組は実施していないが、関係する自治体の対応を踏まえながら、夕張市が選ばれるような施策の検討を進めていく。

・執行体制について

君島 職員を採用しても同等数以上の職員が中途退職し、職員数確保ができなため、職員の過重労働や職場環境の悪化から心の病で長期休業をしている職員がいると聞いている。

職員採用後の人材育成計画、適正人員配置はどうか伺う。

市長 人材育成計画は、採用時の研修や係長・課長職に昇任した際に北海道市町村研修センターでの派遣研修等を行っている。

人員配置は、限りのある職員数の中で可能な限り適正な人員配置を行っている。

君島 職員のモチベーションを高めるための手法を検討することだが、誰がどのように実施をするのか伺う。

市長 課長職を対象とした研修を実施する。課長職が部下の育成方法、働きやすい環境について考え、心理的安全性の高い組織をつくり、モチベーション向上につなげていきたい。

また、職員給与などの処遇の改善について、国、道と議論を深めていきたい。



君島孝夫



君島 中途退職を無くすような庁内での相談体制は整っているのか伺う。

市長 退職については、特別な担当部署は設けていない。所管の課長による退職理由の聞き取りを行い、慰留に努め、総務企画課長も面談し、良い方向にもつていくことはできないか検討することとしている。

また、ハラスメントは総務企画課が窓口になり相談を受け、ストレスによる不調は産業医による面接指導を奨励するなど、相談体制を整えている。

君島 再生代替特別償還後の執行体制について市長の考えを伺う。

市長 現在でも職員数が不足しており、4月に職員採用試験を実施し、年間を通じた職員確保に取組み、効率的な行政運営の検討も行う。公務員離れを鑑み、多くの職種のため本市を選んでもらえる方策を検討する。

君島 本市を選んでもらえる方策とはどのようなものか伺う。

市長 具体的な方策はこれから検討する。インターネット上での情報発信の強化、地元の子が市役所に就職することが重要と考え、夕張高校生のインターシップにおいて市役所の仕事の魅力を伝える内容の検討をする。

・障がい者福祉事業所の閉鎖について

障がいがあっても安心して健康に暮らせるまちづくりを!

櫻井 障がい者福祉事業所の突然の閉鎖、市の役割は?

市長 障害者総合支援法により、事業所の指定や勧告の権限を持つのは北海道となるが、夕張市としてサービスの提供が円滑に行われるよう働きかけをしていきたい。

櫻井 就労継続支援の利用者が、今まで通り障がいの特性を生かして夕張で働き続けることのできる環境を整えることが急務であると考えるが、市としてどのような対応を行っているのか?

市長 夕張市障害者自立支援協議会を急遽開催し、利用者の意向や生活環境を踏まえ、市内の就労継続支援事業所に利用者の受け入れをお願いしている。

利用者一人ひとりの特性に応じて寄り添った対応が求められることから、利用者が適切に障害福祉サービスを利用できるよう、夕張市障害者自立支援協議会を通じて、引き続き、北海道や関係機関と連携を深めて対応し参りたい。

櫻井 利用者受け入れの進捗状況は?

市長 利用者のうち9割以上の方について受け入れ先が決まっている。



櫻井 暁



櫻井 放課後等デイサービスは、市内に受け皿がない状況だが、利用していた児童への支援調整はどのように行われているのか?

市長 利用者ニーズを踏まえ、早急に受け皿を確保すべく北海道や関係機関と協議をしている。

櫻井 障がい者福祉事業所に対する経営状況の課題把握や支援制度の周知など、市から道へのより強い働きかけの必要性は?

市長 北海道では事業所に対して、定期的に実地で運営指導を実施しており不適切な運営が確認された場合、指導が行われている。

しかし、配食サービス、食堂、高齢者のデイサービスなど、障害福祉サービス以外の事業は対象となっていないため、法人全体の経営状況の把握は非常に難しい。

今後についても障害者自立支援協議会を通じて、これまで以上に「顔の見える関係性づくり」に取り組み、必要なサービスが提供されるよう努めていく。

事業所の経営環境がますます厳しさを増す中、道の支援制度の活用が大変重要。さらなる周知が図られるよう北海道に働きかけていきたい。

・高等養護学校との連携と

生徒への支援について

千葉 財政破綻以降、夕張高等養護学校とどのような連携を行ってきたかについて。

市長 障害者総合支援法により、「夕張市障害者自立支援協議会」を通じて関係機関との連携を図り、生徒ひとり一人の卒業時期を見据え、必要に応じて個別支援を実施している。教育における連携は、学校運営協議会や生徒指導連絡協議会、教育委員会で実施している校長・教頭会議で市内教育に関する情報交換を行っている。

学校側からの要望を受け、令和7年6月3日に地域貢献活動の一環として千代田三叉路花壇の植栽作業を生徒と市職員で実施した。

千葉 市長のSNSで発信された令和5年度までに夕張高等養護学校との連携で実現に至らなかった連携事項とその要因、今後の具体的な連携について。

市長 私が高等養護学校を訪問した際や式典に出席した際に、前任の校長から、学校で牛乳パックを活用した紙すきにより封筒を製作している事例や生徒を中心として地域貢献活動を



千葉 勝



行っていた旨の意向を聞いた。封筒については、市としても活用ができないか、まず私自身において検討していたが、学校側の製作が一時中断されたこともあり、具体的活用には至らなかった。

今後も、校長・教頭会議や学校運営協議会などを通じて意見交換を行い、学校の主体的な活動に対して、市としてできることについて検討してまいります。

千葉 夕張中学校を卒業し、夕張高校に進学した生徒には高校魅力化事業で支援がありますが、夕張高等養護学校に進学した生徒には支援がありません。

同じ夕張出身の生徒である夕張高等養護学校生徒への支援について、市長の考えを伺う。

市長 夕張高等養護学校生徒に対する支援については、今後も、校長・教頭会議や学校運営協議会などを通じて意見交換を行い、学校の主体的な活動に対して、市としてできることについて検討してまいります。

・新庁舎建設事業費の膨らみの懸念

・近年の異常気象による大雨冠水被害、どう防ぐ

高間 新庁舎建設事業費が40億円程度と聞いているが、この範囲内で計画を進めていくのかを伺う。

市長 現段階で40億円の範囲内と決めているわけではない。基本計画の事業費は、移転費や事務的経費等は含まれていなく、施設整備費として積み上げた概算である。

高間 建設資材の高騰や労働単価の上昇について、市長の考えを伺う。

市長 高騰が見込まれる場合は、適切に事業費に反映させるよう検討をしていく。

高間 市の将来人口は3千人規模に減少が進むと言われているが、市民の将来負担について考えを伺う。

市長 庁舎建設が市民の将来負担に影響を与えないよう、面積規模は必要最小限とし、事業費は可能な限り抑制することが必要と考えている。

高間 将来負担は、庁舎建設以外の諸課題も含めて考える必要があるのでは。

市長 現状で見込める懸案や総合計画も勘案しながら、総合的なコミュニケーションをしている。

高間 庁舎建設事業における適切な事業手法の考えについて伺う。



高間澄子



市長 財政運営に負担をかけずに事業の実施が可能と考えられる3つの方式で検討を行っている。

高間 どの手法にしても返済には30から40年を要するので、最善の方法を検討していただきたい。

また、市内事業者の参画について考えを伺う。

市長 規模や専門性の高い事業となるため、市内事業者がどのような形で参画できるのか検討している。

高間 昨年8月の大雨でりすたの床上浸水被害を受けたが、どのような対策を講じたのか伺う。

市長 りすたは、必要とされる雨水排水処理能力を備えているが、今後の備えとして吸水土のう袋を新たに整備するなど対策をしている。

高間 市道清水沢中央3号線付近の住宅の床下浸水を受けて、排水対策について伺う。

市長 今年の春に当該市道の側溝の点検、清掃を実施した。

高間 庁舎建設予定の排水計画をどのように盛り込むのか伺う。

市長 周辺環境や複数年の降雨状況などを考慮し、設計に盛り込んでいく。

行政視察報告

7月10日にいわみざわ環境クリーンプラザいわ☆ぴか、南幌町子ども室内遊戯施設「はれっぱ」に視察に行きました。



いわみざわ環境クリーンプラザいわ☆ぴか

鉄、アルミ、硝子などのリサイクルはもちろん、自転車のリサイクルや布団等の羽毛からもアパレルに再利用されており、市民への配慮、企業との繋がりを取り込む努力を感じました。

南幌町子ども室内遊戯施設「はれっぱ」

南幌町の新しい顔で子育て世帯には人気のスポットとなっています。新旧入り混じった魅力とDBO方式について、勉強してまいりました。

